石上光太郎　小倉　弘
加瀬　公毅　鹿又　稔
近藤　一夫
従五位に叙する（各通）
梅澤　穂夫　高橋　庄市
永森　四郎　花山　勝道
正六位に叙する（各通）
赤間　憲廣　伊藤勝太郎
江原　重克　鈴木　諄
従六位に叙する（各通）
小野　義郎
正七位に叙する（各通）（以上九月十六日）
井上喬二郎
従四位に叙する
秦　三生
従五位に叙する
夏目　章一
正六位に叙する（以上九月十七日）
宮城　一夫
正六位に叙する（各通）
古屋　健介
従六位に叙する（以上九月十八日）
増田　聰博
従四位に叙する
國分　俊廣
従六位に叙する（各通）
栗崎　豊久
正七位に叙する（以上九月十九日）
森川久仁男
従五位に叙する（九月二十一日）

○叙勲

川村　邦正　佐柄三千夫
旭日単光章を授ける（各通）（九月十三日）
井土　猶行　林　政盛
（兵庫県佐用町議会議員）
旭日単光章を授ける（各通）（九月十四日）
松尾　文雄　松尾　幸長
旭日双光章を授ける
（和歌山県那智勝浦町議会議員）田中　植
山路登亀弥　吉田　勝吉
旭日単光章を授ける（各通）（以上九月十五日）
樋口廣太郎
旭日大綬章を授ける
園田　武士
旭日単光章を授ける（以上九月十六日）
後藤　敬二
（広島大学名誉教授）
保田茂次郎
瑞宝小綬章を授ける（各通）

石原　叙司　神田　信義　吉川　榮
古賀　一喜　沼澤　智　矢野　富雄
山下　忠久　吉岡　康文
瑞宝双光章を授ける（各通）
明間　豊夫　谷口　幸彦　安田　良一
瑞宝単光章を授ける（各通）（以上九月十三日）
（大阪大学名誉教授）　白地　庄二
瑞宝小綬章を授ける（各通）　山本　實
安住　茂夫　安藤　輝美　池田　和子
大内　祥吉　串原　茂　熊川　徳男
栗城　信雄　千葉　俊夫　根本　忠正
藤原　義雄　山内　壽一　吉嗣修次郎
米倉　俊明
瑞宝双光章を授ける（各通）
飯塚　國雄　岡根　雅之　小川　義人
佐藤　守　和田　亮平
瑞宝単光章を授ける（各通）（以上九月十四日）
（東京大学名誉教授）　飯山　敏道
（筑波大学名誉教授）　池澤俊八洲彦
瑞宝中綬章を授ける（各通）
佐野　秀雄　田中　稲夫
瑞宝小綬章を授ける（各通）
伊東　正勝　遠藤　昭夫　大浦　春賢
佐々木寛一　田吉　清己　中村　勝郎
袴田　欣哉　松田　昭良　吉岡　宏
瑞宝双光章を授ける（各通）
内村　美人　遠藤　利男
小三　一　柳瀬　豊
瑞宝単光章を授ける（各通）（以上九月十五日）
（特命全権大使）　西宮　伸一
瑞宝重光章を授ける
（大分大学名誉教授）　永松　静也
瑞宝中綬章を授ける
小倉　弘　鹿又　稔
瑞宝小綬章を授ける（各通）
赤間　憲廣　石上光太郎　江原　重克
小野小夜子　近藤　一夫　鈴木　諄
田三　文規　花山　勝道　横溝全太郎
瑞宝双光章を授ける（各通）
植木　林　茂
佐藤　一善　木村　村上雄一郎
瑞宝単光章を授ける（各通）（以上九月十六日）
夏目　章一　福田　三年
瑞宝双光章を授ける（各通）
山本　成晴
瑞宝単光章を授ける（以上九月十七日）
水口　清一
瑞宝双光章を授ける（九月十八日）
増田　聰博
瑞宝中綬章を授ける
栗崎　豊久
瑞宝単光章を授ける（以上九月十九日）

官庁報告

産　業

日本工業規格

日本工業標準調査会の調査審議を経て、平成24年10月19日に下記の日本工業規格を確認したので、工業標準化法（昭和24年法律第185号）第16条の規定に基づき公示する。

平成24年10月19日

国土交通大臣　羽田雄一郎

記

確認された日本工業規格

建築の部位別性能分類	A0030
実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法	A1416
建築物の空気音遮断性能の測定方法	A1417
建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法―第1部：標準軽量衝撃源による方法	A1418―1
建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法―第2部：標準重量衝撃源による方法	A1418―2
建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法―第1部：空気音遮断性能	A1419―1
建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法―第2部：床衝撃音遮断性能	A1419―2
実験室におけるコンクリート床上の床仕上げ構造の床衝撃音レベル低減量の測定方法―第1部：標準軽量衝撃源による方法	A1440―1
実験室におけるコンクリート床上の床仕上げ構造の床衝撃音レベル低減量の測定方法―第2部：標準重量衝撃源による方法	A1440―2
音響―音響インテンシティ法による建築物及び建築部材の空気音遮断性能の測定方法―第1部：実験室における測定	A1441―1
音響―音響インテンシティ法による建築物及び建築部材の空気音遮断性能の測定方法―第2部：現場における測定	A1441―2

（内容省略）

備考　内容は、日本工業標準調査会ホームページ（http://www.jisc.go.jp）において閲覧に供する。また、国土交通省住宅局住宅生産課においても閲覧に供する。

日本工業標準調査会の調査審議を経て、平成24年10月19日に下記の日本工業規格を確認したので、工業標準化法（昭和24年法律第185号）第16条の規定に基づき公示する。

平成24年10月19日

国土交通大臣　羽田雄一郎

記

確認された日本工業規格

骨材の単位容積質量及び実積率試験方法	A1104
細骨材の有機不純物試験方法	A1105
コンクリートの曲げ強度試験方法	A1106
コンクリートの圧縮強度試験方法	A1108
細骨材の密度及び吸水率試験方法	A1109
粗骨材の密度及び吸水率試験方法	A1110
細骨材の表面水率試験方法	A1111
コンクリートの割裂引張強度試験方法	A1113
ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験方法	A1121
骨材の含水率試験方法及び含水率に基づく表面水率の試験方法	A1125
ひっかき硬さによる粗骨材中の軟石量試験方法	A1126
骨材に含まれる密度1.95 g／㎤の液体に浮く粒子の試験方法	A1141
有機不純物を含む細骨材のモルタルの圧縮強度による試験方法	A1142
軽量粗骨材の浮粒率の試験方法	A1143
骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）	A1145
骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（モルタルバー法）	A1146
コンクリートの凝結時間試験方法	A1147
ジオテキスタイル及びその関連製品―インターロッキングブロック舗装下の損傷試験（ローラコンパクタ法）	A1229

（内容省略）

備考　内容は、日本工業標準調査会ホームページ（http://www.jisc.go.jp）において閲覧に供する。また、国土交通省住宅局住宅生産課においても閲覧に供する。